

第16期船橋市男女共同参画推進委員会第10回会議録

1. 開催日 令和3年10月21日（木）午前10時00分から
2. 開催場所 市役所9階 第一会議室
3. 出席者 11名（欠席2名）
4. 傍聴者 0名
5. 議題
 - (1) 第9回推進委員会でのご意見について
 - (2) 第4次船橋市男女共同参画計画について
 - (3) 令和3年度男女共同参画社会標語コンクールの審査について（非公開）

〈事務局〉

定刻となりましたので只今より第10回船橋市男女共同参画推進委員会を開始させていただきます。この会議は、船橋市情報公開条例第26条の規定に基づき公開となっております。また、会議録につきましても市のホームページで公開いたします。なお、議題3につきましては不開示情報が含まれますので非公開となります。

配布資料の確認をさせていただきます。次第をご覧ください。

配布資料は事前に郵送させていただいた、

資料1 第4次計画素案の指標に関する委員からの質問への回答

資料2 第4次船橋市男女共同参画計画 素案

資料3 男女共同参画社会標語コンクール 過去の受賞作

資料4 男女共同参画社会標語コンクール 事前審査集計表

がございます。

不足等ございませんでしょうか。

よろしければ、以上で、配布資料の確認を終わらせていただきます。

〈事務局〉

では、本日の議題に入りたいと思います。この後の進行につきましては、船橋市男女共同参画推進委員会設置要綱第5条に基づき、会長の大石様にお願い致します。それでは大石会長お願いいたします。

〈大石会長〉

それでは次第に沿って、会議を進めていきたいと思っております。

まず議題（1）「第9回推進委員会でのご意見について」事務局から説明があります。事務局よろしく申し上げます。

〈事務局〉

議題1 第9回推進委員会でのご意見について、説明させていただきます。

前回の会議での、第4次計画の素案に関係したご意見について説明をいたします。

まず、DVについては2点ございますが、1点目が若年のDV被害者も増えていることから教育の問題にも絡んで学校への配慮は今後どう考えているかといったご意見ですが、このご意見については、今後、若年層に周知する手段としてデートDVのリーフレットを作成し、学校への配布を検討していこうと考えております。

2点目が、DVと児童虐待の窓口が横のつながりをもって取り組むとよいのご意見がございました。このご意見については、DV保護と児童虐待の窓口はいずれも家庭福祉課が所管しており内部で連携をしつつ、船橋市要保護児童及びDV対策地域協議会において関係機関とも連携を図っているところです。また、家庭福祉課が実施するDVの職員研修会ではDVだけでなく児童虐待についても触れており、今年度も実施予定となっております。なお、市民への周知については、11月の児童虐待防止推進月間と11月12日～29日の女性に対する暴力をなくす運動の期間にちなみ、市民協働課と家庭福祉課が共同で、昨年に引き続きDVと児童虐待のパネル展示を11月19日～26日に市役所1階美術コーナーで予定しております。

素案の記載内容を一部変更しておりますので、後ほど議題2でも説明させていただきます。

次のご意見は、障害者の「害」の字について、ひらがなにするのがよいのではないかといったご意見がございました。「害」の字は現在策定中の第4次船橋市障害者施策に関する計画においても、ひらがなではなく漢字の「害」にする予定ですので、男女共同参画計画においても漢字で記載したいと考えております。

次のご意見ですが、市民活動団体における女性の参画の促進について、市民活動サポートセンター運営協議会の委員だけでなく、市民活動サポートセンター登録団体の役員なども含めて女性の参画の状況を評価するほうがよいといったご意見がございました。このご意見については、年に一度の市民力発見サイトの登録団体更新時において団体の男女の構成を記入する項目を設けることで把握できるように検討してまいります。

次のご意見は指標について2点ございました。こちらは所管する職員課に照会した資料がございましたので、資料1の第4次計画素案の指標に関する委員からの質問への回答をご覧ください。1点目が、課長補佐級以上の女性職員の登用率と市職場における男性職員の育児休業取得率については、最終的にどこを目

指しているのか、長期目標があるなら4次計画に掲載をしてほしいとのご意見でした。2点目が課長補佐級以上の女性職員の登用率と市職場における男性職員の育児休業取得率の目標値をこの数字にした理由についてのご質問でした。

1点目の最終目標値については、職員課が所管する特定事業主行動計画は令和7年度までの中期的な目標値を設定しており、この計画期間を超えて長期的な数値目標を掲げることは考えておりません。2点目の数値設定の理由については、令和元年度までの前期の特定事業主行動計画の実績等を踏まえて計画期間の数値として設定をしております。今後の方向性として、女性職員の登用について引き続き推進を図るものと認識しております、と職員課からの回答がございました。

4次計画では、この他にもアンケート等を元にした指標がございますが、目標値については社会情勢をみながら、次の計画を立てる5年ごとに見直しをして立てていきたいと考えております。数値の増加は目指していますが、国も県も最終目標値は示していないことから、本市においても最終目標値は掲載しない方向としたいと考えております。

事務局からのご説明は以上でございます。

〈大石会長〉

ありがとうございました。それでは、ただ今の説明について何かご意見、ご質問はございますか。

〈石村委員〉

いろいろ検討していただきましてありがとうございました。一つだけなんです、ジェンダーという言葉が入って新しく入ったと、あと多様性の問題については、市長の言葉のところにも多様性を入れるか入れないかということで前回お話しになったと思いますが、あれからどうなったかということをお伺いしたいのですが。

〈事務局〉

その部分については以前お答えしたように、市長の挨拶の部分で入れる予定で、文書についてはまだこれからというところでございます。

〈大石会長〉

石村委員よろしいですか。

他に質問、ご意見ございますか。

〈大石会長〉

それでは議題1については終わります。

次は議題2「第4次船橋市男女共同参画計画について」事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉

議題2 第4次船橋市男女共同参画計画について説明いたします。

資料2 第4次船橋市男女共同参画計画 素案をご覧ください。

素案については、前回の会議を踏まえ庁内連絡協議会への意見照会を行った上で修正をしておりますので、変更点について説明をさせていただきます。

まず5ページをご覧ください。5ページの「5 船橋市の現状」については、前回の素案では修正中としていた部分になります。3次計画に引き続いて、船橋市の現状を示すグラフとして①総人口の将来推計、②年齢3区分別人口の推移、③世帯の家族類型の推移、④合計特殊出生率、⑤男女別年齢階級別未婚率の推移、のグラフを掲載しました。なお個々の説明は割愛させていただきます。

続きまして23ページをご覧ください。方策⑩男女共同参画の視点に立った防災体制の確立について、所管課からの意見をもとに2つの事業名を変更しました。

まず事業番号57番です。修正前は「地域防災リーダー養成講座」としておりましたが、地域防災リーダー養成講座だけでなく、まちづくり出前講座等も実施することから、事業名を「地域防災力向上のための講座等の開催」と変更しております。

次に事業番号58番です。修正前は「男女共同参画の視点に立った避難所運営」としておりましたが、現在自主防災組織の防災活動から避難所運営組織の設立につなげることを検討していることから、事業名を「自主防災組織等の活動促進」と変更しました。

次は、28ページをご覧ください。

方針5「配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等の推進」については、DVと児童虐待の連携がわかるように書かれておりませんでしたので、説明文の下から3行目を、“DV被害と児童虐待との相互の支援の隙間が生じないよう関係機関が連携を図り”といった形の説明文に改めました。

また、29ページでは、船橋市要保護児童及びDV対策地域協議会の構成として、支援のネットワークの図を加えております。

次は、33ページをご覧ください。事業番号112番について、所管課からの意見をもとに2点変更しました。まず修正前の事業名は「船っ子教室推進事業」としておりましたが、「船っ子教室（放課後子供教室）推進事業」に変更してお

ります。また、方策の方向性は、修正前ですと「多様なニーズに対応した保育等サービスの充実を図る」の事業としていましたが、この事業は、地域ボランティア等の協力のもとで児童の放課後の居場所を提供する、児童ホームの運営に近い形態であることから、方策の方向性は「地域における子育て支援事業の充実を図る」に変更しております。

次は、38ページをご覧ください。「Ⅲ. 計画の総合的・効果的な推進」の、「2 計画の進行管理」の説明文についてです。以前の説明文ですと、何を基に評価するのかわかりにくいといった意見が庁内からございましたため、庁内連絡協議会では年度ごとに事業の個別評価と総合的な評価を行うとともに全庁的な情報の共有と連携を進めること、また、推進委員会においても事業の点検・評価を行うとともに指標の推移で計画全体の進行状況を確認するといった形の説明文に改めました。

また、指標の目標値は令和7年度とし達成状況を次の計画策定の参考とすることを書き加えております。

説明は以上でございます。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。それでは、ただいまの説明と、それから計画全体を改めて見ていただいて、質問、ご意見ございましたらお願いします。

〈大石会長〉

スケジュールの確認ですけど、基本的にはこの会議が計画の素案を固める最後の場で、計画の進行に変更がなければ12月中にパブリックコメントという形ですか。

〈事務局〉

本日ご意見をいただく4次計画の素案は、庁内連絡協議会へ再度の意見照会を行った後に、議会に報告をします。その後、12月15日から1か月程度期間を設け、パブリックコメントで市民の方に意見を募る予定となっております。

〈大石会長〉

ということですので、基本的には、ほぼここで固めるところで、質問、ご意見がありましたらぜひお願いします。

〈石村委員〉

細かいことで申し訳ないんですけど、6ページの上の図のグラフの下部に項目説明が3つあるんですが、グラフ上は5つ項目があるので、恐らくあと2つ説明がないんですよ。これ入れといた方が本当は説明としては正しいと思うんですけども。

〈事務局〉

確認して修正いたします。ありがとうございます。

〈大石会長〉

他いかがでしょうか。

〈木暮委員〉

すいません、多分、子育て会議とかで話すべき内容だとは思いますが、33ページの事業で船っ子教室に意見なんですけど、船っ子教室というのは放課後ルームとはまた別の枠組みで、全国的にはこれ同じ政策なので一緒にしておこうっていう意見があると思うんです。ですけど、結構大きいところでいうとやっぱり予算も違うんですけど、放課後ルームって子供の点呼とってるじゃないですか。要は、今日子供が来てるかなと必ず点呼を取っていて、一方で船っ子教室って、親御さんはあまり認識してないんですけども点呼とらないですよ。自由に利用できるっていう状態で運営されていると思っていて、これは国とか行政的には同じ事業体っていうことで一本化みたいな話とかも結構出てくると思うんですけど、親からするとやっぱり子供の点呼とってくれるかどうかっていうところでかなり事業的な色合いが違うと思っていて、結構これ問題になっていたんですけど、今の現状はどうなってるかわかりますか。

〈大石会長〉

事務局ご存知でしょうか。

〈事務局〉

船っ子教室は出入り自由ですが、お子さんがカードを持っていて、来た時にカードをタッチして帰るときもタッチをすることで、居ることがわかるような形にはなってます。

運営については、市の方でも一本化した方がいいのかどうか、検討はしています。ただ、厚生労働省がやっている子育て支援的な意味合いと文部科学省の所管の船っ子教室は、学校教育の後の時間の使い方というところの区分けの違いなどもあったりするので、なかなか一緒になりづらい部分があって、例えば、放課

後ルームは夜7時ぐらいの遅い時間までお預かりしますが、船っ子教室は5時で終わるとか、そういった違いもあったりするので、そういったことも含めて今検討させていただいているところです。

〈木暮委員〉

ありがとうございます。やっぱりパブリックコメントで資料からは中身の問題点がほとんどわからないですね。

親御さんからするとさっきおっしゃったように、カードでいるかいないか認識してるんですけど、居なかった場合に親に連絡が行くようになってると事件化を防げたりとか、すごく重要なところだったりもするので、できればそういう細かいところもケアしていけるとよいのかなと一市民として思っているので、もしあれば、問題点みたいなのが分かる資料でパブリックコメントを取れたらなと思います。すみません、限界があるのもよく存じ上げております。

〈大石会長〉

船っ子教室について、せっかくなのでPTAの関係で佐原委員から何かございますか。

〈佐原委員〉

子どもが船っ子教室を利用したことがあります。事業が始まって最初の頃で今は利用していないですけど、そんなに利用している人は多いのかなとちょっと思っていて、放課後ルームは確かにたくさん利用者がいて、働いてない人でも預けられるので、利用する方もいらっしゃるみたいなんですけど。

私の子供が行っていたときは、確かに帰り時間とかが分からなかったです。

上の子のときは放課後ルームを利用していましたが、放課後ルームだと宿題とかも終わらせてくれるので行っていたんです。

下の子のときに船っ子教室を利用したんですけど楽しくないと言われて、最初の一、二ヶ月しか利用しなかったの、ちょっと余りお話できるようなことがなくて申し訳ありません。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。

計画では個別の事業ごとに追及して検討というわけにはいかないんですけども、おふたりのお話を聞いていると、地域における子育て支援事業の充実を図るという112番の事業があまり使い勝手が今のところよくないというか、色々な問題を感じているという意見が出たことを事務局の方からお伝えいただくということでお願いしたいと思います。

〈大石会長〉

他に質問、ご意見いかがですか。

初めて計画を作られる方もいらっしゃいますし、冒頭の表とか基本的な説明のところ、パッと見て分かりづらいとか、分かっている人にはわかる専門用語で書いてしまうとかもあるので、これは表現がわかりづらいですとか、表の使い方で改善があるのではないかとかの視点でも構いませんので、もしあればどうぞ遠慮なくご発言ください。

〈藤田委員〉

意見として、8ページの⑥女性の労働力率の推移で、昨今議論になっている、正規と非正規の割合とか個人事業主含めての比率等も、もしわかれば別のグラフでも男女別も含めてなんですけれども明記いただくと、もうちょっとこの問題の深堀ができるのかなと思うんですけれどもいかがでしょうか。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。ただいまの藤田委員のご意見ですけど、市の方ではそういったデータはお持ちですか。

〈事務局〉

すみません。ちょっと今はわかりかねます。

〈大石会長〉

では見ていただいて、もし可能であれば男女別雇用形態ですよ。おそらくイメージとしては正社員、非正規に自営という感じでしょうか。

〈藤田委員〉

そうですね。雇用形態別に分かります。

〈大石会長〉

あとちなみに市民アンケートの方だと、正規の社員、パートアルバイト、契約派遣、自営、家事専業というようにあるので。ここまで細かくななくてもいいとは思いますが、こういう形態での差があるってところの問題意識だと思うので事務局の方で可能かどうかご検討ください。

どうですか藤田委員から付け加えがあれば。

〈藤田委員〉

仮設をここで話すのはよくないと思うんですけども、M字カーブで戻ってきているものの、男性の場合は正規だったりとか転職率というところがあったり、女性の場合は非正規だったとかも見えるのかなど。もちろん一番詳しく整理するには多分収入の年収率とかいうところにあると思うんです。それだと比べすぎるかなと思うので、少なくとも正規・非正規というところがわかるとありがたいかなと思っています。

〈大石会長〉

そうすると、イメージとしては、世代ごとということですよ。男女だけではなくて。となると、かなり込み入ったデータになるので、そこまであるかどうかですけど。逆に世代を問わずに単純に男女別でその職業割合を出すっていうのだとちょっと今の問題意識を外れますか。

〈藤田委員〉

外れますが、あまりに複雑になりすぎてデータとして見づらいうでしたら、このグラフと男女の比率、そういうところでも第一ステップとしてはいいかなと思います。

〈大石会長〉

そのあたり、ご検討ください。よろしくおねがいします
他にいかがでしょうか。

〈木暮委員〉

これも細かいのですが、5ページなんですけど、総人口の将来推計って下がってなくて、データ指標だけ見せているということだと思うんですけど、人口の予測があることに対して、子育て支援とかをすることで伸ばしていこうっていう意味でこのデータが出てくるのかどうかっていうところが、データ見るだけだと普通に人口が下がってきますよと言ってるだけに見えちゃうので、基本的に指標として意味をなすのかなと思っています。一般の人が見たとき全国ではこういう水準を描いてるけど、船橋としてはそれより上の水準で、これくらいを目指してますよっていうのが例えば見えているのであれば、それは非常にわかりやすいのでそういう目標値もぱっと見で分かった方が、パブリックコメントをとるんだったらいいんじゃないのかなと思いました。それだけです。

〈大石会長〉

はい。この計画はどちらかというところ、こういうふうになっていくから、こういう事業に、より力を入れる必要があるかどうかという観点かとは思うんですね。ただ、確かにおっしゃるとおり、日本全体の人口予測を入れてみるというのは、ありかなとは思いますが、もし可能であれば。

あとはそうですね、やはりどこもそうなんだろうけど、どうしても年齢層が上がっていく、子供人口が減っていくという中で、木暮委員のおっしゃったように将来の子供を増やしていくっていうのであれば、男女共同参画の中でも子育て支援を、というポイントになるでしょうし、もちろん、介護の問題とか、そういうところも、というあたりとの関連だと思いますが、指標がそこまで書き込めるかっていうあたりが難しいというか。

事務局でありますか。指標はひとまず指標でという形で書かれていると思いますけど。

〈事務局〉

すいません。これを載せている目的としては、人口の指標・目標をお示しするのではなくて、全庁的に政策企画で分析した船橋市人口推計調査報告書ということで載せております。庁内で事業を進めていくにあたり、将来推計を受けて、今後、将来的にどういうものを進めていくかということの使い方として掲載させていただいているので、全国のものを載せられるかどうかは確認したいと思うんですけども、これを受けて事業をどう組み込んでいくかを考えるということになるかと思えます。

〈大石会長〉

もしこう書き込んだら良いというようなご意見あれば、皆さんの方から言っただけであればと思いますので、関連で何か質問ご意見ありましたら。

〈藤田委員〉

その場合ですと、②の年齢3区分別人口の推移が2020年までとなってしまうので、その先のことを考えているとすると年齢3区分別人口の推移というところについても、予測にはなると思うんですけども、船橋市の総人口の将来推計とあわせてどのように変化していくかというところを見せていただくと、人口が変わって行って、人口の比率としてはこのように変わってくるので、ここから先こうやって考えていきますっていうようなストーリーかなと思います。

〈大石会長〉

その推計は市でお持ちですか。

〈事務局〉

お伝えしたように①のグラフについては政策企画の方で人口の推計を分析して作成しています。②のグラフは国政調査の結果を伝えているだけなので、②年齢3区分別人口の推移は結果が載っていて①総人口の将来推計は推計が載っているというような形になっています。

〈大石会長〉

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

〈大石会長〉

そうしましたら、この会議の後でもお気づきになったことがあれば事務局に個別に伝えていただくとして、その期限はいつまでになりますか。

〈事務局〉

すいません。あまり期日がなくて申し訳ございませんが、来週の月曜日早々には各課に素案の最終確認をする流れとなりますので、何かございましたら今日中でお願いいいたします。申し訳ございません。

〈大石会長〉

ということですので、あまり期日がありませんが、お手元に資料が事前配布されて目を通していただいて、更に今日この会議で一通り目を通していただいていると思うので、その上で家に戻られて見直した時に気づいた点がありましたら、メール、電話、FAX等で事務局にお伝えください。

〈石村委員〉

人口動態の件ですけれども、船橋市では例えば新船橋の辺りだとか、東葉高速線の船橋日大前辺りとか、若い世代が増えているわけですね。そうすると、老齢化が激しい地域、例えば天沼あたりだとか、松が丘あたりも老齢化が進んでいると思います。だから地域格差はかなり大きいというふうに思いますが、そこまで読み込んでこれを作るかが問題なんですよ。船橋市としては新しいニュータウンを作ることによって人が増えてくるだろうということを期待してるわけですけれども、若い世代をどれだけ市が呼び込めるかという、つまり市の魅力をどれだけ作るかということになるのかなというふうに思います。だから、ものすごく難しい問題を抱えていると思いますので、それが形で何かあるといいなという、

そういう意見です。

〈大石会長〉

はい。ご意見ということでありがとうございます。皆さんも実感として、地域の年齢差ですとか、外の地域から来た人の割合の高さとか全然ちがうのは実感としてお分かりだとは思いますが。

それはすぐにこの計画にビジュアルとして出せるかというのはあるんですけども、そういう問題意識を持って地域ごとにやはり問題は違うっていうところを意識しながらっていうところですかね。そういうご意見ということで、承りたいと思います。何か補足ありますか。

〈藤田委員〉

いまちょっと調べたら、総務省の国勢調査で、国立社会保障人口問題研究所将来推移人口推移っていうところで、人口の0歳～14歳、15歳～60歳、65歳以上年齢っていうグラフがあるので、ちょっと調べていただくと、たぶん船橋市の人口推移予測なので、それをどう精査するかっていう話がありますけれども、国が出している調査データがありそうなので見ていただけると助かります。

〈大石会長〉

あとは市の統計とか計画をつくる大元にお伝えいただいて、こういうデータもあるので、今後の市の全体で共有するデータとしての年齢別の推移もぜひ出してほしいということをお伝えいただければと思います。

〈木暮委員〉

これは意見ではなく、意識の共有になりますけど、保育園で言うと父母会費の徴収がかなりばらつきが出ています。新しい人がどんどん来ている地域なのか、富裕の差というのと同時に、外国籍の方が増えてます。なので委員への共有っていうだけなんですけど、地域格差の貧富の差っていうことと、あと外国の方の流入差っていうのが今かなり地域で大きいので、これから多分男女共同参画会議とかでも近い将来考えていかないといけない問題になるかなあととらえています。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。

他いかがですか。

〈大石会長〉

はい。ではこの計画について、先ほど申し上げたとおり今日中に気づいたことがありましたらぜひ事務局にお願いいたします。

では議題2を終えます。

ここからは非公開の議題3となります。

～以下非公開～